



# MAX REPORT

株主のみなさまへ  
85期 第2四半期報告書(累計)

自平成27年 4月1日 ▶ 至 平成27年 9月30日

## 経営基本姿勢

顧客の支持を高め、いきいきと楽しく力を合わせ  
皆揃って成長していく集団を目指す

### 1. 顧客を知る、現場を知る経営に徹する

自分達の顧客は誰か。そしてその顧客を知るために、また自らを知るために、「現場」「現物」「現実」の三現主義を徹底して実践し、その問題の原因、課題を解決することで顧客価値を高め、企業価値を高めます。

### 2. ガラス張りの経営に徹する

連結決算を重視し、一般に公正妥当な会計基準に基づき、企業の方針、業績、実態を適時・適切に社内外に公開してまいります。

### 3. 全員参画の経営に徹する

社員は仕事を通して積極的に経営に参加し、それぞれの役割の中で事業成果を拡大してまいります。

### 4. 成果配分の経営に徹する

結実された成果は、「株主」「社員」「社会」に公正に配分してまいります。

## 85期経営方針

1. 成長事業の確立 2. 収益力の強化 3. 自ら考え、行動を起こす

## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、日ごろから格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、①成長分野への投入シフト②消耗品ビジネスの再構築③設備投資・拠点再編によるコストダウン④新規技術領域の探索と深耕の4つの基本戦略を実行することで持続的な成長を図り全社収益の向上を目指してまいります。

## ご報告

### 当期の概要について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用、所得環境の改善が続くなど緩やかな回復基調が継続しました。当社事業に影響を与える新設住宅着工戸数は消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響が薄れ、持ち直しの動きが見られました。海外では、米国経済は個人消費や設備投資が増加するなど堅調に推移し、欧州でも緩やかに景気回復が続きましたが、アジア新興国では経済成長が鈍化するなど当社事業を取り巻く環境は依然として不透明な状況で推移しました。

このような状況の下で当社グループは、『1. 成長事業の確立 2. 収益力の強化 3. 自ら考え、行動を起こす』を当期の経営方針として掲げ、その実現に向けて①成長分野への投入シフト②消耗品ビジネスの再構築③設備投資・拠点再編によるコストダウン④新規技術領域の探索と深耕の4つの基本戦略を実行することで持続的な成長を図り全社収益の向上を目指してまいりました。

この結果、売上高は324億3千7百万円(前年同期比3.7%の増収)、営業利益は28億6千5百万円(同8.9%の増益)となりました。経常利益は、29億1千2百万円(同1.8%の増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億6百万円(同0.3%の減益)となりました。

### 今期の見通し

国内や米国、欧州経済は緩やかな景気回復が続く見通しとなっていますが、アジア新興国や中国は経済成長が減速する懸念があり、当社を取り巻く環境は依然として不透明な状況にあります。

このような状況下で、「成長事業の確立」と「収益力の強化」を達成するため、営業・生産・開発が連携して事業運営課題を進めることで収益の拡大に取り組んでおり、現時点において事業収益は堅調に推移しております。

このような状況を鑑み、平成27年4月28日に公表した平成28年3月期連結業績予想について変更はありません。

今後とも株主の皆さまには、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成27年11月



代表取締役社長

川村八郎

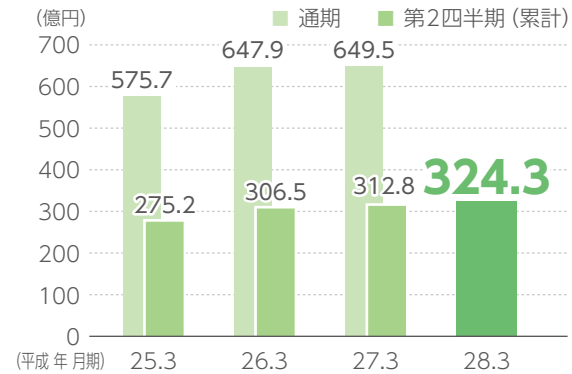
## もくじ

経営基本姿勢・経営方針	1	セグメント別の概要	5・6
株主のみなさまへ	2	特集：マックス ヒストリー	7・8
財務ハイライト	3	会社情報/株式の状況	9
連結財務諸表	4	利益配分に関する基本方針/配当/株主メモ	10

※本資料の将来に係る記述は、現時点で入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確定な要素を含む仮定を前提としております。実際の事業は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

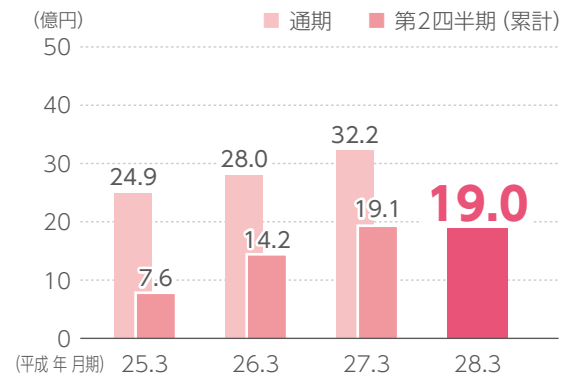
## 連結損益計算書の概要

### 売上高



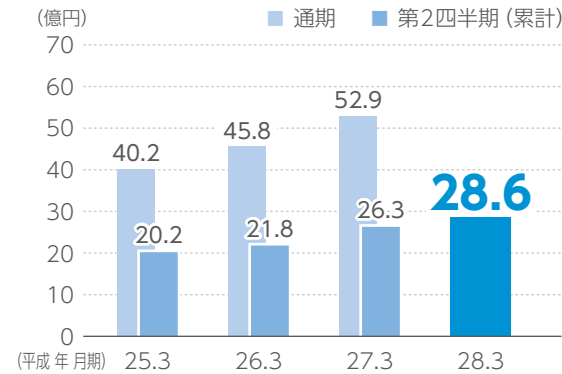
海外事業において、ホッチキスやコンクリート構造物向け工具が伸長した結果、増収となりました。

### 当期純利益(\*)



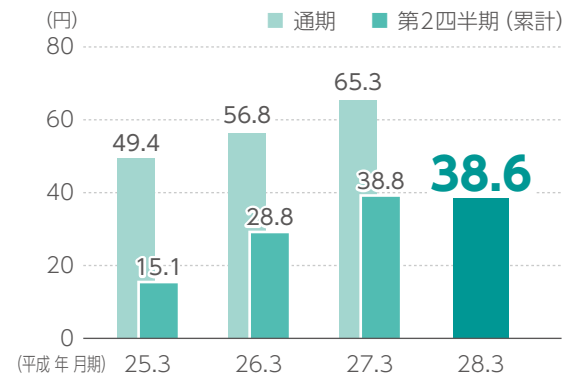
期中において、為替が円高に推移したことにより為替差損が発生し、前年同水準の実績となりました。

### 営業利益



営業利益は売上の増加、販管費の削減により増加し、売上高営業利益率は8.8%となりました。

### 1株当たり当期純利益(\*)



四半期純利益の減少により、前期の38.8円から38.6円に減少しました。

## 貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	前連結会計年度 (平成27.3.31現在)	当第2四半期 連結会計期間 (平成27.9.30現在)
<b>資産の部</b>			
流動資産		43,354	41,523
固定資産		45,236	45,259
有形固定資産		17,714	17,825
無形固定資産		955	866
投資その他の資産		26,566	26,567
資産合計		<b>88,590</b>	<b>86,782</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債		12,638	11,588
固定負債		10,456	10,138
負債合計		<b>23,094</b>	<b>21,727</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本		65,434	65,511
その他の包括利益累計額		△ 54	△ 558
非支配株主持分		116	102
純資産合計		<b>65,495</b>	<b>65,055</b>
負債・純資産合計		<b>88,590</b>	<b>86,782</b>

## 損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前第2四半期 連結累計期間 (皇 平成26.4.1 皇 平成26.9.30)	当第2四半期 連結累計期間 (皇 平成27.4.1 皇 平成27.9.30)
売上高		31,281	32,437
売上原価		19,205	20,162
売上総利益		12,075	12,275
販売費及び一般管理費		9,444	9,409
営業利益		2,631	2,865
営業外収益		295	165
営業外費用		65	119
経常利益		2,861	2,912
特別利益		-	46
特別損失		74	53
税金等調整前四半期純利益		2,787	2,905
親会社株主に帰属する四半期純利益		1,912	1,906

### Point

- 1 受取手形及び売掛金や有価証券の減少などにより、流動資産は減少しました。
- 2 支払手形及び買掛金や賞与引当金の減少などにより、流動負債は減少しました。
- 3 投資有価証券売却益を特別利益として計上しました。
- 4 営業活動によるキャッシュ・フローの資金増加に対し、財務活動、投資活動によるキャッシュ・フローの資金減少が上回ったため、残高が減少しました。

## キャッシュ・フロー計算書

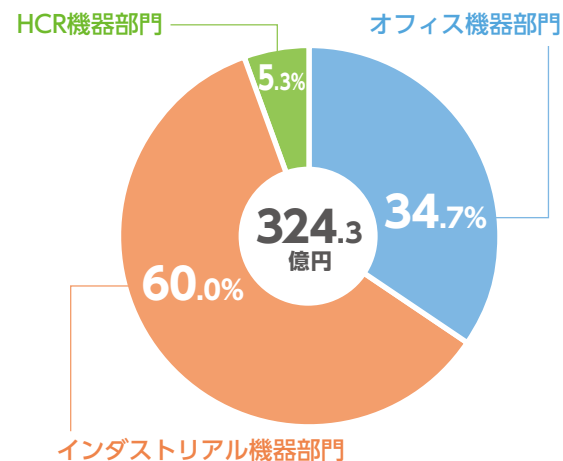
(単位:百万円)

科目	期別	前第2四半期 連結累計期間 (皇 平成26.4.1 皇 平成26.9.30)	当第2四半期 連結累計期間 (皇 平成27.4.1 皇 平成27.9.30)
現金及び現金同等物の期首残高		11,025	15,343
営業活動によるキャッシュ・フロー		3,400	2,149
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,374	△ 642
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,890	△ 1,946
現金及び現金同等物に係る換算差額		174	△ 110
現金及び現金同等物の増減額		310	△ 551
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額		531	-
現金及び現金同等物の四半期末残高		11,867	14,792

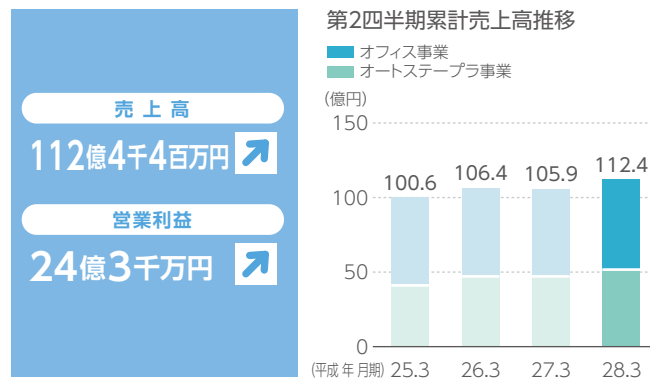
(\*) 当期(四半期)純利益とは、「親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益」を指します。

# セグメント別の概要

## ● 平成27年3月期第2四半期累計売上高構成比



## ■ オフィス機器部門



### オフィス機器部門

- ・ オフィス事業は、主力のホッチキスをはじめとした文具や事務機械を通じてオフィスワークをサポートしています。
- ・ オートステープラ事業は、複写機メーカーに搭載される電子ホッチキスおよび消耗品を供給しています。

### インダストリアル機器部門

- ・ 機工品事業は、主力の釘打機をはじめとした木造建築用の工具、コンクリート構造物向けの建設用工具などを販売しています。
- ・ 住環境機器事業は、浴室暖房換気乾燥機、24時間換気システムなどを通じて、住まいの快適環境づくりを提案しています。

### HCR機器部門

- ・ 車いすや歩行器など移動機器の供給を通じて、高齢者の自立生活を支援しています。

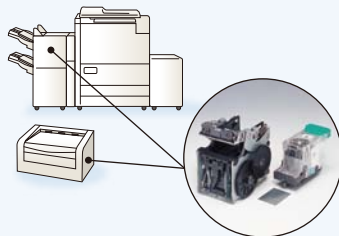
### オフィス事業

国内は文具関連の販売が減少しましたが、国内・海外共に「ピーポップ」販売が好調だったことなどから、増収となりました。



### オートステープラ事業

欧米経済の緩やかな成長を背景に、複写機市場が堅調に推移し、増収となりました。



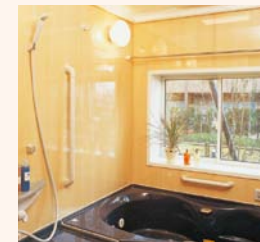
### 機工品事業

国内は内装、設備市場でコンクリート構造物向け工具が伸長しました。海外は米国の住宅市場が堅調に推移し、木造建築・コンクリート構造物向け工具ともに増加し、増収となりました。

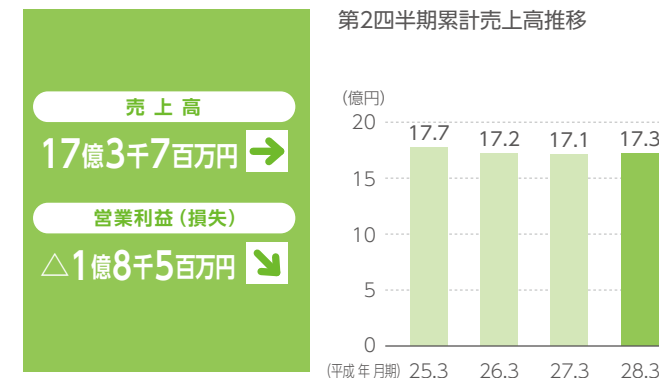


### 住環境機器事業

主力の浴室暖房換気乾燥機が増加したものの、換気システムや床暖房の販売が減少し、微減収となりました。



## ■ HCR機器部門



### HCR機器部門

大手レンタルルート向けに新製品の提案活動を進めたことで、車いすの販売が増加し、増収となりました。



お客様の声をかたちにしてきた歴史

いまや建築、家具・木工、梱包現場に欠かせない「釘打機」。ホッチキスが開発のスタートになっていることはご存じですか。当社事業の柱の一つである釘打機は、ホッチキスの針を使用し画鋲代わりにポスターなどを貼る「ガンタッカ」が、建築モルタル工法のラス張り用として左官屋さんに使われたことが発展のスタートになっています。その後、圧縮空気を動力源とした釘打機が開発されたことで家具・木工作業から梱包作業用に活躍の場を広げます。そして、釘打機が一挙に普及するきっかけとなったのが、1970年台にピークを迎えた住宅建築です。大工さんは積極的に釘打機を使い始め、今ではなくてはならない現場ツールとなっています。今回は、“お客様からの声”によって進化していく、「釘打機」をはじめとした建築・建設工具の歩みをご紹介します。

1950年代



ガンタッカ (手動式釘打機) [T-G3]

1960年代



国産初のエア式ネイラ「エアタッカT2-A」

住宅供給の拡大と結婚組数の増加により、家具産業の成長は著しく釘打機の需要は急速に高まりました。

1970年代



自社開発のエアコンプレッサ [AK-08U]

1980年代



静音設計 [AK-615P] 発売

建築市場に本格参入する戦略商品 [CN-57]

空前絶後の建築ブームのなか、大工さんはようやく釘打機を使い始め、別名「釘打ち工法」ともいわれる2×4工法の普及により釘打機は建築現場で威力を発揮しました。



国産初 丸釘を打ち込める「コイルネイルCN-60」

手打ちの釘打ち作業で使用されている丸釘はTネイルに比較して保持力があるという理由から、丸釘が打てる釘打機が市場では渴望されていました。

世界初 エア式ねじ打機「ターボドライバ TD-432」



住宅の高級化・高性能化や、耐震性能の向上が求められるなか、内装材の石膏ボードの接合にねじ化が急速に進み、ねじを打って締めるエア式の「ターボドライバ」を世界で初めて開発しました。

※写真は最新モデルのHV-R41G4

1990年代



世界初 鉄筋結束機 リバータイア [RB-260]



コンクリート・鋼板用スーパーネイラ [HN-120]

大工さんの人員不足、高齢化や後継者不足による現象が予想され、住宅建築の効率化が求められるなか、高い打ち込み力とボディの小型・軽量化を図り製品化されました。



スーパーネイラ 建築市場向け本格展開 [HN-65・75・100]

2000年代



釘JIS規格改定に対応するスーパーネイラ [HN-90N3]

当社が世界で初めて開発した高圧釘打機スーパーネイラは、発売以来、お客様から高い支持を受けながら、施工方法や建材の多様化に対応した商品を生み出し続け、建築現場では、スタンダードな工具として定着し、大工さんに愛されています。

2010年代



高吐出量と低騒音を両立したスーパーエアコンプレッサ [AK-HL1270E]

建築現場では、マンションや住宅密集地での作業や、リフォームなどで居住者の居ながら作業、工期の迫った朝夕の時間外作業が増え、現場の静音化への要望が強くなるなか、ハイパワーでありながら低騒音化を実現する製品を開発しました。

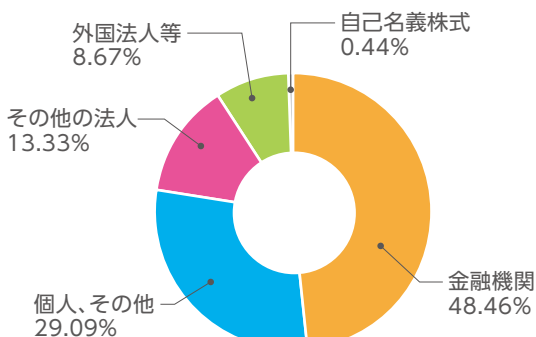
## 会社概要 (平成27年9月30日時点)

商号：マックス株式会社  
 本社：東京都中央区日本橋箱崎町6番6号  
 設立：昭和17年11月26日  
 資本金：123億6千7百万円  
 従業員：2,681名  
 グループ会社：連結子会社24社  
 (国内11社、海外13社)

## 取締役・監査役・執行役員 (平成27年10月現在)

代表取締役社長	川村 八郎	上席執行役員	中野 俊和
専務取締役上席執行役員	塩川 博	上席執行役員	加藤 賢二
常務取締役上席執行役員	樋口 浩一	主幹執行役員	岸 信夫
常務取締役上席執行役員	黒沢 光照	主幹執行役員	浅見 泰
取締役(社外)	平田 稔	主幹執行役員	角 芳尋
常勤監査役	木暮 郷司	執行役員	斎藤 篤
常勤監査役	梅沢 宏	執行役員	小鯛 富雄
監査役(社外)	畠山 正誠	執行役員	小川 辰志
監査役(社外)	望月 眞宏	執行役員	佐原 隆
		執行役員	飯島 裕治

## 株式分布状況 (所有者別株式数比率) (平成27年9月30日時点)



発行可能株式総数：145,983,000株  
 発行済株式の総数：49,500,626株  
 株主数：4,199人

## 大株主 (上位10位まで) (平成27年9月30日時点)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
第一生命保険株式会社	4,284	8.69
日本生命保険相互会社	3,762	7.63
マックス共栄会第一持株会	3,668	7.44
マックス共栄会第二持株会	2,882	5.85
株式会社みずほ銀行	2,344	4.76
株式会社群馬銀行	2,114	4.29
明治安田生命保険相互会社	1,588	3.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,357	2.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	1,186	2.41
マックス従業員持株会	1,126	2.29

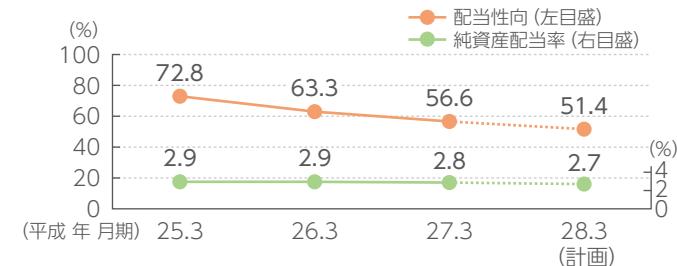
※持株比率については、自己株式217,095株を控除して算出しております。

## 利益配分に関する基本方針 / 配当

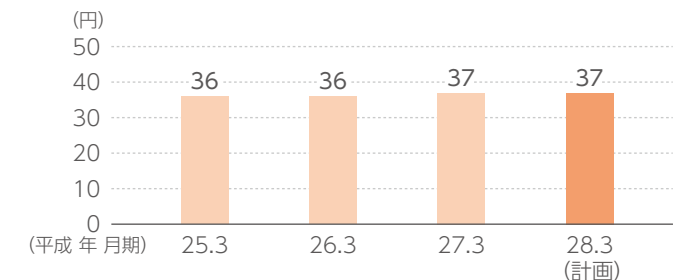
当社の配当政策は、連結決算を基準に「配当性向40%を下限とし、純資産配当率2.5%を目指す」を基本方針としています。

当期は、先行き不透明な経済環境や為替動向などが当社業績に対し影響を及ぼす可能性があります。事業収益は堅調に推移しており、財務状況などを総合的に勘案して、前期と同様の「1株当たり年間配当金37円」とする予定です。

## 配当性向 / 純資産配当率の推移



## 1株当たり配当金の推移



## 株主メモ

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会：毎年6月開催  
 基準日：定時株主総会・期末配当金 毎年3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告いたします。  
 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関：東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  
 株主名簿管理人事務取扱場所：東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 郵便物送付先：〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話照会先：☎0120-782-031 インターネットホームページURL <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>  
 単元株式数：1,000株  
 公告の方法：当社ホームページに掲載いたします。<http://www.max-ltd.co.jp/>  
 ただし、事故その他やむを得ない事由により、当社ホームページに掲載できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
 上場証券取引所：東京

<http://www.max-ltd.co.jp/ir/> 本社 〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6番6号 TEL.(03)3669-0311(代)

## 第6回 マックス

# 「心のホッチキス・ストーリー」

大募集

～毎日の生活の中で、「あなたが今、ホッチキスしたいこと」をお寄せください～

平成27年 10月1日(木)～12月8日(火)

何気ない生活の中にある、「今の幸せ」「家族との結束」「人との付き合い」など、  
いつまでも心にとどめておきたい思いや出来事などを募集しています。

**応募資格**：どなたでもご応募いただけます。

**募集内容**：あなたが心にとどめておきたいことや、つないでおきたいこと。

(例えば、「今の幸せ」や「家族の絆」、「友だちとの思い出」など、どんなことでも結構です)

**募集期間**：平成27年10月1日(木)～平成27年12月8日(火)※当日消印有効

**応募方法**：原稿は400字程度(超過、未滿可)。自作未発表作品に限ります。

**表彰**：

マックス・心のホッチキス大賞	1点	ギフト券5万円とマックス製文具セット (4千円相当)
マックス・U-18大賞(高校生の部)	1点	図書カード1万円とマックス製文具セット(4千円相当)
マックス・U-18大賞(中学生の部)	1点	図書カード1万円とマックス製文具セット(4千円相当)
マックス・U-18大賞(小学生以下の部)	1点	図書カード1万円とマックス製文具セット(4千円相当)
マックス賞	5点	図書カード5千円とマックス製文具セット(4千円相当)

※マックス・U-18大賞は、18歳以下の応募作品が対象です。

**応募先**：当社ホームページの応募専用フォームもしくは郵送で受け付けます。

・**当社ホームページの場合**

[https://wis.max-ltd.co.jp/enq/story6\\_form.html](https://wis.max-ltd.co.jp/enq/story6_form.html)

・**郵送の場合**

住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号、ペンネームを明記の上、  
以下の宛先までご応募ください。

〒103-0027 日本郵便株式会社 日本橋南郵便局留

マックス「心のホッチキス・ストーリー」事務局 係

**審査発表**：当社にて厳正な審査をし、入賞者には直接通知し、ホームページ上に  
掲載いたします。発表は平成28年2月下旬を予定しております。

詳しくは  
当社ホームページへ  
アクセス!



著作権について：応募作品の全ての著作権(著作権法第27条  
および第28条に定める権利を含む)は、マックス株式会社に  
帰属いたします。また、応募作品は、返却いたしません。

なお、応募作品は、出版、映像化(映画・テレビ・DVDなど)、舞  
台化、放送、ネット配信などの方法で利用することがあります。



印刷時に、VOC(揮発性有機  
化合物)などを含む湿し水が  
不要となる水なし印刷です。



CO<sub>2</sub>を排出しないグリーン  
電力を一部使用している  
工場で印刷しています。



石油系溶剤の一部を植物  
油に置き換えたベジタブル  
インキを使用しています。



ユニバーサルデザイン(UD)  
に基づいた、読みやすい文字  
デザインを使用しています。